

● 地域提案型

平成19年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	中華人民共和国
2. 事業名	遼寧省との黄砂に関する共同調査研究
3. 事業の背景と必要性	<p>友好省の関係を結ぶ富山県と遼寧省は、水質汚濁の著しい遼寧省遼河流域等の水質改善に役立てるため、平成11年から平成19年度までJICA事業を通じ、共同の現地調査、技術研修員の受入れ、短期専門家の派遣を行ってきた。この結果、遼寧省の分析・環境モニタリング技術の向上や汚濁実態の把握のみならず、汚濁負荷量の削減を実現するなど遼河や遼東湾の水質改善に貢献してきた。</p> <p>近年、中国では産業経済の急速な発展に伴い、黄砂や酸性雨、光化学スモッグなど大気汚染問題が顕在化してきており、市民の生活に大きな影響を与えている。このような状況下において遼寧省から大気汚染分野の調査研究の要請があった。このため富山県と遼寧省は、これまでの共同調査の実績を活かし平成20年度から大気汚染物質の調査・解析技術の調査研究を共同で実施することとなった。</p> <p>なお、最近、日本においても中国からの大気汚染物質による影響が懸念されており、中国における大気汚染の改善は、日本への影響の軽減にも繋がるものと考えられる。</p>
4. 事業の目的	<p>近年、中国遼寧省において黄砂（砂嵐）が頻繁に飛来し、省民の生活環境に大きな影響を与えている。また、日本にも飛来する頻度も多くなってきている。</p> <p>このため、富山県は遼寧省における黄砂の測定や環境教育の一環として小学校での黄砂の視程観測の技術移転を図るとともに、市民参加型の報告会の開催等を遼寧省と共同で実施することにより、遼寧省における黄砂対策の推進や省民の環境意識の高揚に寄与するものである。</p>
5. 対象地域	遼寧省（瀋陽市、盤錦市、鉄嶺市）
6. 受益者層	遼寧省、盤錦市及び鉄嶺市の各環境監測実験センター職員、瀋陽市、盤錦市及び鉄嶺市の小学校、一般市民
7. 活動及び期待される成果	<p><活動></p> <p>(1年次：平成20年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 重金属分析の研修のための研修員の受入れ（10-11月） ● 測定地点の選定並びにサンプリング方法の指導及び宣伝教育センターの視程観測指導者の育成のための専門家派遣（12月） ● 黄砂測定、視程観測の現地指導のための専門家派遣（2月） <p>(2年次：平成21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 黄砂測定結果の解析方法の指導のための専門家派遣（12月） ● イオン成分分析の研修のための研修員の受入れ（10-11月） ● 黄砂測定、視程観測の現地指導のための専門家派遣（2月） <p>(3年次：平成22年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 黄砂発生地推定方法の指導のための専門家派遣（12月） ● 調査結果の取りまとめ技術の研修のための研修員の受入れ（10-11月） ● 遼寧省における黄砂に関する共同調査研究発表会（シンポジウム）の準備（1月）と開催（2月） <p><成果></p> <p>遼寧省環境監測実験センターにおいて、省における黄砂実態把握のための分析技術、発生地推定技術の能力向上と黄砂対策における監測センターの指導的な位置付けが確立される。</p> <p>小学校における黄砂視程観測の継続的な実施が定着するとともに、その他の大気汚染問題にも関心を高める。また、省の宣伝教育センターの指導者の育成指導を通じて省内3都市の小学校等にも大気汚染観測技術の普及が図られる。</p>
8. 実施期間	平成20年9月～平成23年3月
9. 事業の実施体制	当該事業はJICAの協力を得ながら（財）環日本海環境協力センター（NPEC）と遼寧省環境監測実験センターと共同で実施する。研修員の受入れ及び専門家の派遣に関しては、富山県環境科学センターの協力を得て実施する。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	財団法人 環日本海環境協力センター（NPEC）（富山県）
2. 対象国との関係、協力実績	友好省の関係を結ぶ富山県と遼寧省は、水質汚濁の著しい遼寧省遼河流域等の水質改善に役立てるため、平成11年から平成19年度までJICA事業を通じ、共同の現地調査、技術研修員の受入れ、短期専門家の派遣を行った。この結果、分析・環境モニタリング技術の向上や汚濁実態の把握のみならず、汚濁負荷量の削減を実現するなど遼河や遼東湾の水質改善に貢献してきた。